

新規事業をお考えの企業様 必見です！

低コスト
地盤改良

スクリー・プレス工法

施工パートナー向け

事業講習会開催のご案内

◆当工法の特長は…

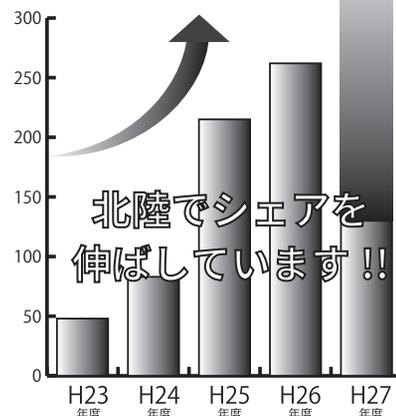
- ・1台の施工機と2人の作業員で施工可能、短期施工が可能な為、**高利益**！
- ・自然素材で有害物質の発生がなく、**環境に貢献**。解体時の撤去も不要です！
- ・長岡技術科学大学との共同研究により、当工法を応用した低コスト**液状化対策工法**も開発済み！関東でも実績増加中！

◆講習会の内容は…

- ・地盤改良業界の、現在と将来について
- ・当工法導入後のアフターフォローと安定収益構造
- ・まだまだ広がる地盤ビジネス（今後の当社の開発技術の方向性と貴社に提供できる技術について）
- ・当工法と他社工法との違いとメリット

工法の詳しい内容は
2枚目をご覧ください

講習は**無料**です！
お気軽にご参加下さい。



スクリー・プレス工法
動画がみれます！
“グランテック”で

検索

下記ご記入のうえ、このままFAX!! 申込締切り日 9月4日(金)

FAX : 0766-91-1548

ご希望の
日程の□に
チェックを
ご記入下さい

- 東京会場：9月29日(火) 14:00～16:00 / (株)コンステック 東京支店
東京都品川区北品川 1-8-11 Daiwa 品川 Northビル 10階
- 大阪会場：10月5日(月) 14:00～16:00 / (株)コンステック 本社
大阪府中央区北浜東 4-33 北浜ネクスビル 27階

(フリガナ)
会社名 /

所在地 /

(フリガナ)

参加代表者様氏名 /

(部署 : 御役職)

参加人数 / 名

連絡先 TEL /

連絡先 FAX /

連絡先 E-mail /

コンステック HD グループ

株式会社 **グランテック**

http://www.grountec.net/

〒935-0037 富山県氷見市上泉 51

担当：永井・高島 / TEL:0766-91-6111

E-mail : nagai@grountec.net

自社開発工法

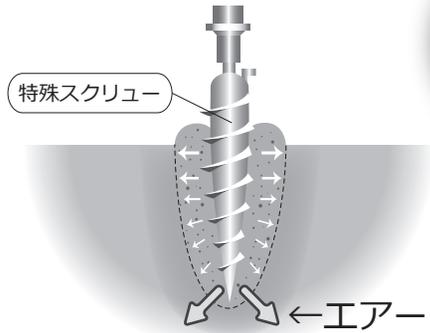
スクリー・プレス工法

地震に強く、低コスト、そして環境にも優しい
戸建住宅向け地盤改良の新技术

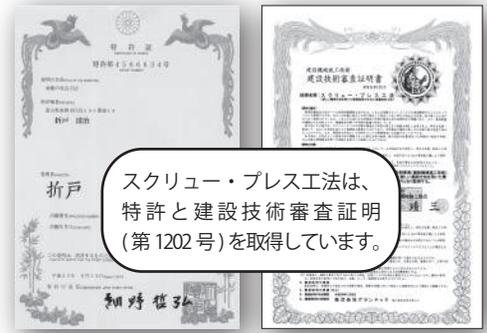
【スクリー・プレス工法のメリット】

■ 業界初、掘削残土ゼロの新しい掘削方法

掘削残土の発生がないので、従来工法に比べ施工時間が大幅に短縮され、低コストの施工が可能になりました。また、産業廃棄物となる排土処理の必要がなく、環境保全にも大きく貢献します。



- ① 無排土とラジコン採用で低コスト実現！
- ② 碎石パイルは解体時の撤去不要！
- ③ 自然素材で有害物発生なし！
- ④ 固化不良、施工不良なし！
- ⑤ CO₂削減に貢献！



■ 碎石または間伐材でのパイル形成が可能

◇ 碎石パイル

φ400mmの碎石パイルを無排土で築造することにより、地盤全体を締め固め、地震に強い強固な地盤をつくります。パイルが支持層に達していなくても、十分な支持力を発揮します。

◇ 間伐材パイル

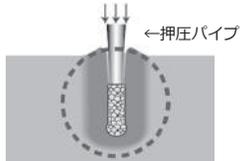
間伐材は地場産の杉材を使用。間伐材を杭に使用することで、カーボンストックとなり、環境保全に貢献します。杉材の圧縮強度は22～35N/mm²とコンクリートに匹敵する強度があり、安心の地盤を築きます。

■ スクリー・プレス工法の施工工程



周囲の土は、圧密により押し固められ支持力を向上。空気を送りながらドリルを引き抜きパイル状の空洞が完成。

碎石パイル

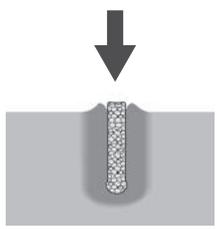


押圧パイプの大きな押圧力で碎石をしっかりと圧入。碎石圧入量は掘削体積に対し、1.2～2倍で、確かな地盤を実現します。

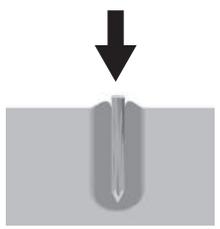
間伐材パイル



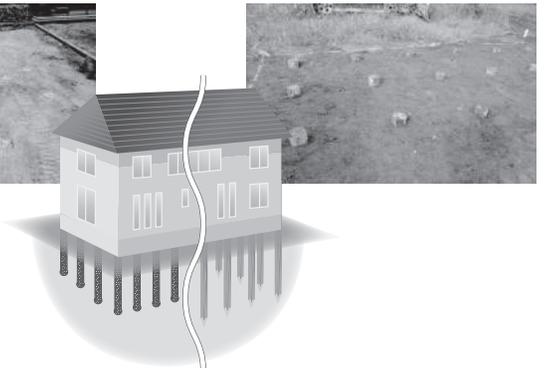
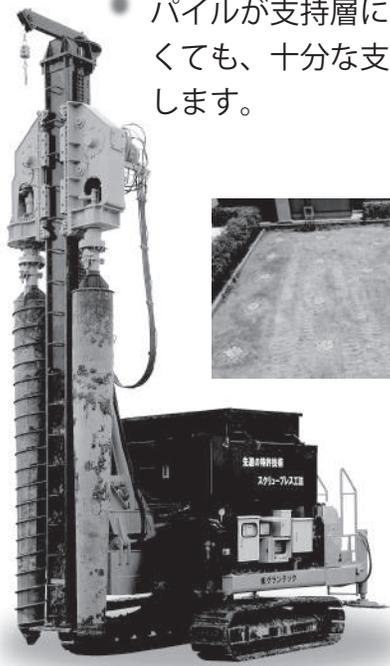
排土せず杭体積だけ圧密するので、原地盤支持力が向上する。



GLまで碎石柱を形成し、最後に設計荷重以上の荷重で転圧を行い、沈下しないことを確認。



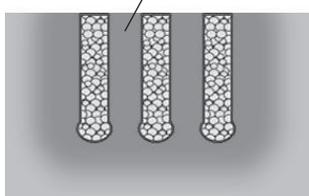
自然素材で低コストの間伐材を地中に使用することで、カーボンストックにもつながる。



操作は無線リモコン採用で
2人作業が標準！

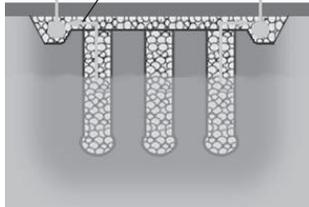
対策①：締め固め

締め固め範囲



対策②：間隙水圧消散

間隙水



■ スクリー・プレス工法による液状化対策

液状化対策には、

- ① 砂地盤を強固に締め固める
- ② 間隙水圧が上昇したら、消散させるという方法があります。

スクリー・プレス工法は、二つの効果を同時に発揮させるハイブリッド液状化対策です。

長岡技術科学大学との共同研究成果によれば、原地盤N値を倍増することが可能で、実振動実験でも大きな抑制効果を確認しています。

関東地区では、着実に実績をつんでいます。